

ホタル研究



地域とつながるカフェ
YABAKEI CAFE



ともに学び、ともに成長

自然の中で、
自分らしい未来に出会う。

未来旅 @ 耶馬溪校

耶馬溪の大自然



令和9年度入学生
全国募集中



緑に囲まれた学び舎



四季が育む、耶馬溪の自然



大分県立
中津南高等学校 耶馬溪校

Nakatsu Minami High School Yabakei Campus

環境・社会共生科
(令和8年度新設)

耶馬溪校だからできる学び

教室の外に、 本物の学びがある。

「小さな学校の大きな挑戦」をスローガンに、

全校生徒約 50 名が学ぶ耶馬溪校。耶馬溪の豊かな自然と、

地域の人々とのふれあいの中で、ここにしかない学びが生まれています。

その中から、特に“耶馬溪校らしい”3つの活動を紹介します。

目線を合わせて分かりやすく
説明するのは大変だったけど、
達成感がすごかったです。

耶馬溪学 選択・2年



城井小学校での「ホタル授業」

01 いのちと自然の学び

高校生が、 小学校の先生になる日。

ホタルの飼育・観察を通して、自然環境と
命の尊さを高校生の視点で学ぶ、耶馬溪校
ならではの科目です。

毎年恒例の「ホタル授業」では、生徒が城井小学校
へ出向き、4・5 年生にホタルの生態を伝えます。今
年で 25 年目。自作のポスターとテキストを手に、「オ
ススメの見分け方は？」と問いかけながら、産卵箱づく
りも一緒に体験。河川の水質調査や生体調査の成果
は、文化祭やイベントで発表します。

02 地域の自然を学ぶ

田んぼも、川も、 ぜんぶ教室になる。

地域の環境や産業を学び、環境保全や地域づくりに貢献する力を育てる、新しい学校設定教科です。

「防災」「山国川」「自然と景観」の3つの視点から、地域をまるごと見つめ直します。今年度は「米作り」に挑戦。地域の方が貸してくださった田んぼで、田おこしから田植え、収穫までを体験。汗を流しながら、食べものの大切さと地域の人の温かさを肌で感じます。



お米を作る大変さを知って、これからはもっと感謝して食べようと思いました。

環境・社会共生科・1年

地域の方と取り組む「田植え」

03 世代をつなぐ交流

「代々」、世代を つないでいく。

生活福祉コースの生徒が、地域の高齢者と交流するサロン活動「だいだいクラブ」。

地域の拠点「まーちゃん家」に月1回集まり、介護予防体操や脳トレ、レクを生徒が企画・運営します。名の由来は何代も続く「代々」。世代を越えたつながりへの想いが込められています。神経衰弱で、大分名産の「カボス」を2点にするなど、楽しんでもらう工夫も生徒のアイデアです。

勇気を出して話しかけたら「ありがとう」と言われて、うれしかったです。

生活福祉コース・2年



「まーちゃん家」でのレクリエーション



はじめての土地でも、

だいじょうぶ。

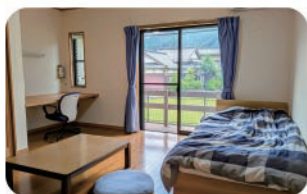
自然の中で学び、暮らし、人とつながる。

耶馬溪校は、皆さんの新しい一歩を地域とともにしっかり支えます。

耶馬溪留学 各種サポート

生徒寮の整備

既存施設を整備。手づくりの食事を朝夕提供、急な体調不良にも24時間対応。



水上スポーツに係る費用の支援

国内屈指の水上スポーツ施設「アクアパーク」での水上スキー等の費用を支援。



生活必需品の貸与による生活支援

電動自転車・冷蔵庫・洗濯機・ベッドなど無償貸与。



高校コーディネーターによる地域連携のサポート

みんなで
応援するよ!



地域住民7名による「耶馬溪校見守り隊」が、寮生活や学習面をサポート。飲食店オーナーや地域おこし協力隊OBなど、様々な分野で活躍する大人たちによる、高校生の学校生活を支える心強い伴走体制。



高校コーディネーター
平松 あすかさん

学校と地域をつなぐプロである高校コーディネーターが、探究活動や生活を支援。皆さんの夢や進路の選択肢を広げる手助けを行います。

アクセス



中津駅から耶馬溪校まで



車で約 30 分
(約 23km)



バスで約 40 分
(中日線)

今すぐチェック!

お問い合わせ



大分県立中津南高等学校 耶馬溪校

〒871-0404 大分県中津市耶馬溪町大字戸原 1650-3

☎ 0979-54-2011 ✉ a32811@oen.ed.jp



全国募集専用サイト



公式 HP